

令和5年度 再々評価調書（内部評価）

1 事業概要

| | | |
|------------------------------|---|--|
| 事業名 | 一般府道 南千里茨木停車場線 歩道段差改善 | |
| 担当部署 | 都市整備部 道路室 道路環境課 交通安全施設グループ（連絡先 06-6944-9283） | |
| 事業箇所 | 茨木市西駅前町～吹田市千里万博公園 | |
| 再々評価理由 | 再評価実施後5年間が経過した時点で継続中（休止） | |
| 事業目的 | 歩道における段差・縦横断勾配を改善し、高齢者や障がい者をはじめ誰もが安全・安心・快適に通行できる歩行空間を確保する。 | |
| 事業内容 | <p>2.2kmのうち約1.9kmの区間がバリアフリー重点整備地区外であり、ほとんどの区間が段差改善等を優先的に実施していく区間に該当しておらず、府の整備の優先順位が低いことから休止している。</p> <p>歩道段差改善</p> <p>事業延長：約2.2km</p> <p>（現況）道路幅員：22.0m 車道：4車線〔3.5m×4〕 自転車歩行者道：両側〔3.5m×2〕</p> <p>（計画）道路幅員：22.0m 車道：4車線〔3.5m×4〕 自転車歩行者道：両側〔3.5m×2〕</p> | |
| 事業費 ()内の数値は 前回評価時点のもの | <p>全体事業費：：約2.4億円（約2.4億円）〔国：1.2億円、府：1.2億円〕</p> <p>（内訳）調査費等 約0.08億円（約0.08億円） 用地費 約0億円（約0億円） 工事費 約2.32億円（約2.32億円）</p> | <p>【工事費の内訳】</p> <p>・本体工 約2.32億円（約2.32億円）</p> |
| 事業費の変更理由 | — | |
| 維持管理費 | 約51万円／年（道路部：33万円／千㎡・年（過去5年府内実績より算出）） | |

2 事業の必要性等に関する視点

| | 事前評価時点 H20 | 前回評価時点 H30 | 再々評価時点 R5 | 変動要因の分析 |
|--|--|---|---|---------|
| 事業を巡る社会 経済情勢等の変化 | <p>当該路線は、JR 茨木駅より万博外周道路へと向かう道路であり、周辺には学校や病院その他多数の公共施設や商業施設・住宅・商店等も密集しており、歩行者の往来が多い。しかし、福祉のまちづくり条例に適合しない歩道の段差があり、高齢者等の移動円滑化や安全の確保のため改善が必要である。</p> <p>【交通事故発生状況】 H14～H18（5か年） ：20件 （うち死亡事故：0件）</p> <p>【周辺道路の交通量】 H17 交通センサスデータ 自動車交通量： 14,394台/12H 自転車交通量： 1,098台/12H 歩行者交通量： 828人/12H</p> | <p>【交通事故発生状況】 H25～H29（5か年） ：16件 （うち死亡事故：0件）</p> <p>【周辺道路の交通量】 H27 全国道路・街路交通情勢調査 自動車交通量： 11,198台/12H 自転車交通量： 1,001台/12H 歩行者交通量： 545人/12H</p> | <p>【交通事故発生状況】 H30～R4（5か年） ：10件 （うち死亡事故：1件）</p> <p>【周辺道路の交通量】 R3 全国道路・街路交通情勢調査 自動車交通量： 11,009台/12H 自転車交通量： 1,234台/12H 歩行者交通量： 914人/12H</p> | — |
| | <p>地元の協力体制等</p> | <p>地元市より当該事業区間約 2.2 kmのうち、西駅前交差点横断歩道橋のバリアフリー化の整備の要望がある。</p> | | |
| | 事前評価時点 H20 | 前回評価時点 H30 | 再々評価時点 R5 | 変動要因の分析 |
| <p>事業の投資効果 ＜費用便益分析＞ または ＜代替指標＞</p> | <p>交通安全事業における費用便益測定手法は確立されていない。</p> | | | |

| | | | | |
|---|--|--|--|--|
| <p>事業効果の定性的分析 (安全・安心、活力、快適性等の有効性)</p> | <p>【安全・安心】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩行者等の移動の円滑化（バリアフリー化の推進）・安全性が向上する。 駅へアクセスする道路であり、地域住民などあらゆる道路利用者の安全に寄与する。 <p>【活力】</p> <ul style="list-style-type: none"> バリアフリー化の推進・歩行者交通等の利便性向上に寄与する。 <p>【快適性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通利便性が向上する。 <p>【受益者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路利用者 | | | |
| | 事前評価時点 H20 | 前回評価時点 H30 | 再々評価時点 R5 | 変動要因の分析 |
| <p>事業の進捗状況 ＜経過＞</p> <p>① 事業採択年度 ② 事業着工年度 ③ 完成予定年度</p> | <p>① 平成 21 年度 ② 平成 21 年度 ③ 平成 25 年度</p> | <p>① 平成 21 年度 ② 平成 21 年度 ③ 未定</p> | <p>① 平成 21 年度 ② 平成 21 年度 ③ 令和 10 年度</p> | <p>当該区間 約 2.2 kmのうち、JR 茨木駅周辺の一部区間（約 300m）については、令和元年にバリアフリー法に基づく特定道路に指定されたが、それ以外の約 1.9 kmは、位置付けされておらず、優先順位が低いことから本格着手できない状態が継続した。</p> |
| <p>＜進捗状況＞</p> | <p>—</p> | <p>・全体 3.3% (0.08 億円／2.4 億円) ・調査費等 100% (0.08 億円／0.08 億円) ・用地 - % (- 億円／- 億円) ・工事 0% (0 億円／2.32 億円)</p> | <p>・全体 3.3% (0.08 億円／2.4 億円) ・調査費等 100% (0.08 億円／0.08 億円) ・用地 - % (- 億円／- 億円) ・工事 0% (0 億円／2.32 億円)</p> | |
| <p>事業の必要性等に関する視点</p> | <p>多くの区間が特定道路および生活関連経路に該当しないものの、歩道における段差・縦横断勾配を改善し、高齢者や障がい者をはじめ誰もが安全・安心・快適に通行できる歩行空間確保は必要である。</p> | | | |

3 事業の進捗の見込みの視点

| | |
|--------------|--|
| 事業の進捗の見込みの視点 | 府管理道路におけるバリアフリー化は、誰もが安心して利用できるよう、歩道の段差・勾配改善や視覚障がい者誘導用ブロックの設置等を行うこととしており、特に特定道路や市町村が策定するバリアフリー基本構想で、位置付けられた生活関連経路を優先して整備を進めていく方針であり、まずは、特定道路等に位置付けられている JR 茨木駅周辺の一部区間（約 300m）の整備を行う予定である。 |
|--------------|--|

4 コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

| | |
|---------------------|---|
| コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点 | 当該事業区間の歩道は多くの方が利用しており、周辺施設への移動経路として重要な役割を確立している。このため、現歩道の段差改善等を行うことにより、移動の円滑性や安全性を高めることが最適と考えられる。 |
|---------------------|---|

5 特記事項

| | |
|-----------------------|---|
| 自然環境等への影響とその対策 | ・周辺は市街地が形成されており、本事業において新たに自然環境に与える影響はない。 |
| 前回評価時の意見具申（付帯意見）と府の対応 | — |
| 上位計画等 | ・大阪府都市整備中期計画（R3.3改訂） ・茨木市バリアフリー基本構想（H28.3） |
| その他特記事項 | — |

6 評価結果

| | |
|------|---|
| 評価結果 | ○再開 <判断の理由> ・事業実施について、特定道路や市町村が策定するバリアフリー基本構想で位置付けられた生活関連経路を優先して整備を進めていく方針であるため、特定道路等に指定された区間から事業を実施する。 以上の理由から、事業を再開する。 |
|------|---|

令和5年度 再々評価 (一般府道 南千里茨木停車場線 歩道段差改善)

